

温泉の成分・禁忌症・適応症及び入浴上の注意

(リブマックスリゾート奥道後)

成分				禁忌症・適応症及び入浴上の注意			
1 源泉名 奥道後第9号源泉 愛媛県松山市末町甲267番地2				1 禁忌症 病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くとき息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期、皮膚又は粘膜の過敏な人、高齢者の皮膚乾燥症			
2 泉質 アルカリ性単純硫酸温泉(低張性アルカリ性温泉)							
3 泉温 源泉 40.6℃(気温12℃) 使用位置 41.0℃							
4 温泉の成分							
(1) pH値 9.4				2 適応症 筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、耐糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進、不眠症、うつ状態、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症			
(2) ラドン含有量 $20.9 \times 10^{-10} \text{Ci/l}$ /kg(5.74MBq/kg)							
(3) 試料1kg中の成分: 分量及び組成							
イ 陽イオン							
成分	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール%(mval%)	3 浴用の方法及び注意 ア. 入浴前の注意 (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酔っ払い状態での入浴は特に避けること。 (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。 (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。 (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。 (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。 (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。 イ. 入浴方法 (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。 (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1~2回とし、慣れてきたら2~3回まで増やしてもよいこと。 (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3~10分程度とし、慣れてきたら15~20分程度まで延長してもよいこと。 ウ. 入浴中の注意 (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。 (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起さないようにゆっくり出ること。 (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。 エ. 入浴後の注意 (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫酸泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で流した方がよいこと。) (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。 オ. 湯あたり 温泉療養開始後おおむね3日~1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。 カ. その他 浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。			
成分	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール%(mval%)				
リチウムイオン	0.4	0.06	1.10				
ナトリウムイオン	118.3	5.15	94.50				
カリウムイオン	1.9	0.05	0.92				
アンモニウムイオン	0.4	0.02	0.37				
カルシウムイオン	3.4	0.17	3.12				
陽イオン 計	124.4	5.45	100.01				
ロ 陰イオン							
成分	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール%(mval%)				
ふっ化物イオン	15.4	0.81	14.81				
塩化物イオン	108.4	3.06	55.94				
臭化物イオン	0.3	0.00	0.00				
水酸化物イオン	0.4	0.02	0.37				
硫酸水素イオン	4.4	0.13	2.38				
硫酸イオン	6.7	0.14	2.56				
炭酸水素イオン	46.2	0.76	13.89				
炭酸イオン	8.1	0.27	4.94				
メタほう酸イオン	12.1	0.28	5.12				
陰イオン 計	202.0	5.47	100.01				
ハ 遊離成分 非遊離成分							
成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(μmol)					
メタケイ酸(H ₂ SiO ₃)	58.6	0.75					
非遊離成分 計	58.6	0.75					
ニ 溶存物質(ガス性のものを除く) 0.3850g/kg							
溶存ガス成分							
成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(μmol)					
溶存ガス成分 計	0.0	0.00					
ホ 成分総計 0.3850g/kg							
ヘ その他微量成分							
マグネシウムイオン	0.1 mg未満	カドミウムイオン	0.0005 mg未満				
ストロンチウムイオン	0.05 mg未満	総水銀	0.0005 mg未満				
バリウムイオン	0.1 mg未満	鉛イオン	0.001 mg未満				
アルミニウムイオン	0.05 mg未満	よう化物イオン	0.1 mg未満				
総クロム	0.005 mg未満	チオ硫酸イオン	0.1 mg未満				
マンガンイオン	0.005 mg未満	亜硝酸イオン	0.1 mg未満				
鉄(II)イオン(Fe ²⁺)	0.05 mg未満	硝酸イオン	0.1 mg未満				
鉄(III)イオン(Fe ³⁺)	0.05 mg未満	りん酸イオン	0.1 mg未満				
銅イオン	0.005 mg未満	総ヒ素	0.005 mg未満				
亜鉛イオン	0.005 mg未満	セレン	0.001 mg未満				
5 温泉の分析年月日 平成27年12月21日							
6 登録分析機関の名称及び登録番号 愛媛県立衛生環境研究所 第1号 平成14年4月4日							
松山市 							

成分に影響を与える項目

1. 加水している場合	4. 入浴剤等を添加している場合
2. 加温している場合 温泉の温度が低いため、入浴に適した温度に保つため加温しています。	5. 消毒処理している場合 松山市旅館業法施行条例の基準を満たすため、塩素系薬剤を使用しています。
3. 循環利用をしている場合 温泉資源の保護と衛生管理のため、循環ろ過装置を使用しています。	

温泉の成分・禁忌症・適応症及び入浴上の注意

(リブマックスリゾート奥道後 客室露天風呂)

成分				禁忌症・適応症及び入浴上の注意																																															
1 源泉名 奥道後第9号源泉 愛媛県松山市未町甲267番地2 2 泉質 アルカリ性単純硫黄温泉(低張性アルカリ性温泉) 3 泉温 源泉 40.6℃(気温12℃) 使用位置 41.0℃ 4 温泉の成分 (1) pH値 9.4 (2) ラドン含有量 $20.9 \times 10^{-10} \text{ } ^{222}\text{Rn} / \text{kg}$ (5.74 Bq/kg) (3) 試料1kg中の成分: 分量及び組成 イ 陽イオン				1 禁忌症 病気の活動期(特に熱のあるとき)、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと思苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期、皮膚又は粘膜の過敏な人、高齢者の皮膚乾燥症 2 適応症 筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり(関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期)、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、胃腸機能の低下(胃がもたれる、腸にガスがたまるなど)、軽症高血圧、前糖能異常(糖尿病)、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺炎腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状(睡眠障害、うつ状態など)、病後回復期、疲労回復、健康増進、不眠症、うつ状態、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、慢性湿疹、表皮化膿症 3 浴用の方法及び注意 ア. 入浴前の注意 (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。酩酊状態での入浴は特に避けること。 (イ) 過度の疲労時には身体を休めること。 (ウ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。 (エ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。 (オ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。 (カ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。 イ. 入浴方法 (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (イ) 入浴形態 心臓機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。 (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1~2回とし、慣れてきたら2~3回まで増やしてもよいこと。 (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3~10分程度とし、慣れてきたら15~20分程度まで延長してもよいこと。 ウ. 入浴中の注意 (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。 (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起さないようにゆっくり出ること。 (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。 エ. 入浴後の注意 (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること(ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質(例えば酸性泉や硫黄泉等)や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で流した方がよいこと。) (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。 オ. 湯あたり 温泉療養開始後おおむね3日~1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。 カ. その他 浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。																																															
ロ 陰イオン <table border="1"> <thead> <tr> <th>成分</th> <th>ミリグラム(mg)</th> <th>ミリバール(mval)</th> <th>ミリバール%(mval%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ふっ化物イオン</td><td>15.4</td><td>0.81</td><td>14.81</td></tr> <tr><td>塩化物イオン</td><td>108.4</td><td>3.06</td><td>55.94</td></tr> <tr><td>臭化物イオン</td><td>0.3</td><td>0.00</td><td>0.00</td></tr> <tr><td>水酸化物イオン</td><td>0.4</td><td>0.02</td><td>0.37</td></tr> <tr><td>硫化水素イオン</td><td>4.4</td><td>0.13</td><td>2.38</td></tr> <tr><td>硫酸イオン</td><td>6.7</td><td>0.14</td><td>2.56</td></tr> <tr><td>炭酸水素イオン</td><td>46.2</td><td>0.76</td><td>13.89</td></tr> <tr><td>炭酸イオン</td><td>8.1</td><td>0.27</td><td>4.94</td></tr> <tr><td>メタほう酸イオン</td><td>12.1</td><td>0.28</td><td>5.12</td></tr> <tr><td>陰イオン計</td><td>202.0</td><td>5.47</td><td>100.01</td></tr> </tbody> </table>				成分	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール%(mval%)	ふっ化物イオン	15.4	0.81	14.81	塩化物イオン	108.4	3.06	55.94	臭化物イオン	0.3	0.00	0.00	水酸化物イオン	0.4	0.02	0.37	硫化水素イオン	4.4	0.13	2.38	硫酸イオン	6.7	0.14	2.56	炭酸水素イオン	46.2	0.76	13.89	炭酸イオン	8.1	0.27	4.94	メタほう酸イオン	12.1	0.28	5.12	陰イオン計	202.0	5.47	100.01				
成分	ミリグラム(mg)	ミリバール(mval)	ミリバール%(mval%)																																																
ふっ化物イオン	15.4	0.81	14.81																																																
塩化物イオン	108.4	3.06	55.94																																																
臭化物イオン	0.3	0.00	0.00																																																
水酸化物イオン	0.4	0.02	0.37																																																
硫化水素イオン	4.4	0.13	2.38																																																
硫酸イオン	6.7	0.14	2.56																																																
炭酸水素イオン	46.2	0.76	13.89																																																
炭酸イオン	8.1	0.27	4.94																																																
メタほう酸イオン	12.1	0.28	5.12																																																
陰イオン計	202.0	5.47	100.01																																																
ハ 遊離成分 非解離成分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>成分</th> <th>ミリグラム(mg)</th> <th>ミリモル(mmol)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>メタけい酸(H₂SiO₃)</td><td>58.6</td><td>0.75</td></tr> <tr><td>非解離成分計</td><td>58.6</td><td>0.75</td></tr> </tbody> </table>				成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)	メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	58.6	0.75	非解離成分計	58.6	0.75																																							
成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)																																																	
メタけい酸(H ₂ SiO ₃)	58.6	0.75																																																	
非解離成分計	58.6	0.75																																																	
ニ 溶存物質(ガス性のものを除く) 0.3850g/kg 溶存ガス成分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>成分</th> <th>ミリグラム(mg)</th> <th>ミリモル(mmol)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>溶存ガス成分計</td><td>0.0</td><td>0.00</td></tr> </tbody> </table>				成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)	溶存ガス成分計	0.0	0.00																																										
成分	ミリグラム(mg)	ミリモル(mmol)																																																	
溶存ガス成分計	0.0	0.00																																																	
ホ 成分総計 0.3850g/kg ヘ その他微量成分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>成分</th> <th>0.1 mg未満</th> <th>成分</th> <th>0.0005 mg未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>マグネシウムイオン</td><td>0.05 mg未満</td><td>カドミウムイオン</td><td>0.0005 mg未満</td></tr> <tr><td>ストロンチウムイオン</td><td>0.1 mg未満</td><td>総水銀</td><td>0.0005 mg未満</td></tr> <tr><td>バリウムイオン</td><td>0.1 mg未満</td><td>鉛イオン</td><td>0.001 mg未満</td></tr> <tr><td>アルミニウムイオン</td><td>0.05 mg未満</td><td>よう化物イオン</td><td>0.1 mg未満</td></tr> <tr><td>総クロム</td><td>0.005 mg未満</td><td>チオ硫酸イオン</td><td>0.1 mg未満</td></tr> <tr><td>マンガンイオン</td><td>0.005 mg未満</td><td>亜硝酸イオン</td><td>0.1 mg未満</td></tr> <tr><td>鉄(II)イオン(Fe²⁺)</td><td>0.05 mg未満</td><td>硝酸イオン</td><td>0.1 mg未満</td></tr> <tr><td>鉄(III)イオン(Fe³⁺)</td><td>0.05 mg未満</td><td>りん酸イオン</td><td>0.1 mg未満</td></tr> <tr><td>銅イオン</td><td>0.005 mg未満</td><td>総ひ素</td><td>0.005 mg未満</td></tr> <tr><td>亜鉛イオン</td><td>0.005 mg未満</td><td>セレン</td><td>0.001 mg未満</td></tr> </tbody> </table>				成分	0.1 mg未満	成分	0.0005 mg未満	マグネシウムイオン	0.05 mg未満	カドミウムイオン	0.0005 mg未満	ストロンチウムイオン	0.1 mg未満	総水銀	0.0005 mg未満	バリウムイオン	0.1 mg未満	鉛イオン	0.001 mg未満	アルミニウムイオン	0.05 mg未満	よう化物イオン	0.1 mg未満	総クロム	0.005 mg未満	チオ硫酸イオン	0.1 mg未満	マンガンイオン	0.005 mg未満	亜硝酸イオン	0.1 mg未満	鉄(II)イオン(Fe ²⁺)	0.05 mg未満	硝酸イオン	0.1 mg未満	鉄(III)イオン(Fe ³⁺)	0.05 mg未満	りん酸イオン	0.1 mg未満	銅イオン	0.005 mg未満	総ひ素	0.005 mg未満	亜鉛イオン	0.005 mg未満	セレン	0.001 mg未満				
成分	0.1 mg未満	成分	0.0005 mg未満																																																
マグネシウムイオン	0.05 mg未満	カドミウムイオン	0.0005 mg未満																																																
ストロンチウムイオン	0.1 mg未満	総水銀	0.0005 mg未満																																																
バリウムイオン	0.1 mg未満	鉛イオン	0.001 mg未満																																																
アルミニウムイオン	0.05 mg未満	よう化物イオン	0.1 mg未満																																																
総クロム	0.005 mg未満	チオ硫酸イオン	0.1 mg未満																																																
マンガンイオン	0.005 mg未満	亜硝酸イオン	0.1 mg未満																																																
鉄(II)イオン(Fe ²⁺)	0.05 mg未満	硝酸イオン	0.1 mg未満																																																
鉄(III)イオン(Fe ³⁺)	0.05 mg未満	りん酸イオン	0.1 mg未満																																																
銅イオン	0.005 mg未満	総ひ素	0.005 mg未満																																																
亜鉛イオン	0.005 mg未満	セレン	0.001 mg未満																																																
5 温泉の分析年月日 平成27年12月21日 6 登録分析機関の名称及び登録番号 愛媛県立衛生環境研究所 第1号 平成14年4月4日				4 禁忌症及び適応症決定年月日 平成28年11月4日 <div style="text-align: center;">  </div>																																															
成分に影響を与える項目																																																			
1. 加水している場合 _____ 2. 加温している場合 温泉の温度が低いため、入浴に適した温度に保つため加温しています。 3. 循環利用をしている場合 _____				4. 入浴剤等を添加している場合 _____ 5. 消毒処理している場合 松山市旅館業法施行条例の基準を満たすため、塩素系薬剤を使用しています。																																															